

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立高志館高等学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 各分野で新たな取り組みを始め、魅力ある学校づくりと地域への情報発信に重点をおいて取り組んできた。 進路保障や部活動・農業クラブ活動の活性化では、確かな実績を積み上げることができた。 ICT活用教育を推進し、わかる授業の徹底と専門高校としての教育内容の充実を図る。
------------------	---

2 学校教育目標	校訓「高志潔心」の理念を指針として訓育に努める。 ① 学業の充実 ② 基本的生活習慣の確立 ③ 生徒会活動・農業クラブ活動・部活動・ボランティア活動の活性化 ④ 信頼される開かれた学校の推進 ⑤ 専門教科の教育内容及び施設・設備の充実
----------	--

3 本年度の重点目標	スローガン「ステップアップ高志館」～マナーの向上と更なる成長を目指して～ ○生徒が高い志を持ち、自らの可能性を信じて更なる「成長」を目指せるよう、授業と部活動の充実に努め、生徒が力を試す挑戦の場を多く準備する。 ○時代とともに技術は変化するが、身につけた精神は生き方を支えることを生徒に理解させ、さまざまな教育活動をおして社会に貢献できる「人間力」を身につけさせる。 ○先が見えない時代にあっては、常に考え、課題を解決する「課題解決力」が備わっていることが必要であるとの認識を持ち、生徒に今は何をすべきかを常に考えさせ、課題や責任を果たさせる中で自信を芽生えさせ、自立しようとする気持ちを育む。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	○朝の読書を通じた読解力の育成。	○学校図書館の貸し出し冊数が前年度を上回る。	・週2回(木、金)の読書の時間に実施している佐賀新聞電子版を読む時間が読むだけで終わっているため、読んだ内容についてアウトプットすることを国語科等と連携しながら計画、実行する。						
	○基礎学力の向上	○基礎学力診断テストにおいて学力指標が前年度より向上する生徒を70%以上にする。 ○プテテストの平均点を70%以上にする。 ○職員の授業参観期間を設定する。	・基礎学力診断テストを効果的に活用し、生徒の意識向上を図り、学力向上に繋げる。 ・プテテストで、就職問題を繰り返し実施。 ・教員が学期に1回以上他の教員の授業を参観する。						
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○農業クラブ九連大会事務局校として、おもてなしの心、相手を気遣う心への意識を80%以上にする。	・大会実施に向けた要項、マニュアルを作成し、生徒が役割を果たせるよう指導する。 ・九連大会に向けた機運を盛り上げるため、7月に校内イベントを実施する。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめは、どこでも、誰にでも起こりうるので、いじめを受けている本人から教師に相談できる体制を整え、相談回数を増やし、早期解決へと導く。	・定期的な情報交換を行い、いじめの予防、早期発見と対応を行う。 ・教員間で情報を共有し、生徒が安心して学習に取り組める教育環境を作る。 ・生徒とのコミュニケーションを密にことり、些細な変化も見逃さないように注意し、職員間で連携して対応に取り組む。						
	○特別支援教育の充実 多様性を認め合う生徒の育成	○障害のあるなしに関わらず、共に生活しやすい環境を創る。障害であることを理由に差別を受ける件数を0(ゼロ)にする。	・発達障害の診断をもつ生徒の保護者との信頼関係を築く。定期的に面談を行い、本人・保護者の要望を聞き、支援会議を開き、全職員への共通理解を図る。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○学校全体の出席率を98%以上にし、授業不良等による欠席者を減らす。	・保健だよりの定期的な発行や関連する教科の授業等を通して、望ましい生活習慣の大切さを理解させ、健康に関する意識を高める。 ・保護者との連携を密に行い、家庭での生活習慣改善に取り組む。 ・体育の授業はじめにラジオ体操・ランニングを実施し、体力の向上を図る。						
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●体力の向上	●「健康に食事は大切である」と考える生徒を80%以上とする。 ●体力の向上を実感した生徒の割合を70%以上にする。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定(毎週月曜日) ・部活動休養日の設定 ・部活動顧問の複数配置 ・学校閉庁日の設定						
	○教職員のICTスキルの向上及び生徒のICT活用の推進	○教職員及び生徒のICTスキルの向上 ・生徒がPCを使用する日数を授業日の50%以上にする。 ・生徒への配布物等については、ペーパーレス化に取り組む。	・職員研修の実施(学期に1回) ・校務サーバーへの情報掲載等を行い、会議資料のペーパーレス化に取り組む。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
○進路保障	○生徒の希望進路達成100%	○年内の進路達成率100% ○難関大学への合格 ○公務員への合格	・生徒の進路希望に基づく企業への求人依頼、新規開拓 ・難関4年制大学、公務員希望者に対する個別指導の充実 ・就職支援員や学年団を中心に、働くことへの意識づけと企業選択のアドバイス						
◎コミュニティー・スクールを活用した魅力と活力ある高校づくり	◎魅力的な専門教育を通して各分野への興味・関心を深め、明確な進路意識を持った専門学習になるよう、志を高める教育を目指す。	○誇りを持って専門教科の学習に取り組む生徒を70%以上にする。 ○プロジェクト学習の推進を図り、地域貢献につながる研究活動と広報活動を行う。	・熟練技能者の技術等を学んだり、生産物の販売等を行うとともに、これらの活動を広報することで、生徒の充実感を高める。						

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育	
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・